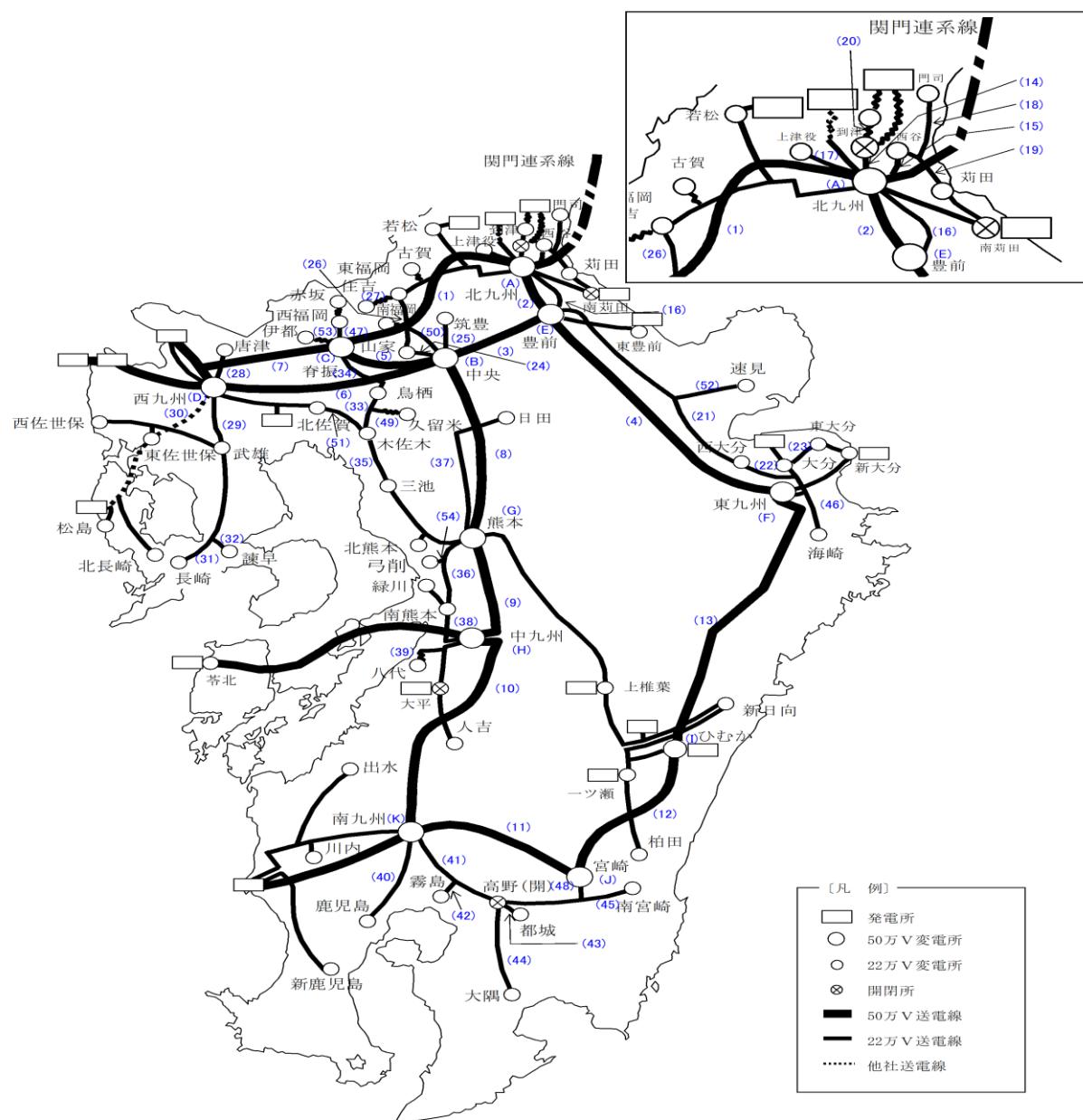


地内制約要因一覧  
(九州電力送配電株式会社)

# 地内制約要因一覧（系統図）

会社名：九州電力送配電



## 地内制約要因一覧（送電線）

九州電力送配電											
No.	電圧[kV]	送電線名	方向	制約要因	算定方法	系統制御	ワラン拘無 [万kW]	想定故障	想停容 [GW]	備考	決定 基準
1	500	北九州幹線	脊振変→北九州変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	493.6		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			北九州変→脊振変	周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	493.6		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
2	500	豊前北幹線	豊前変→北九州変	周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			北九州変→豊前変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	493.6		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
3	500	豊前西幹線	豊前変→中央変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	329		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			中央変→豊前変	周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	329		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
4	500	東九州幹線	東九州変→豊前変	周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			豊前変→東九州変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	658.1		○
				同期	-	-	-	-	-	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	
				電圧	-	-	-	-	-	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
5	500	脊振幹線	脊振変→中央変	周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	658.1		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
			中央変→脊振変	周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	658.1		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
6	500	佐賀幹線	西九州変→中央変	電圧	-	-	-	-	-	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			中央変→西九州変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	320.1		○
				同期	-	-	-	-	-	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	
				電圧	-	-	-	-	-	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
7	500	玄海幹線 L 南線	西九州変→脊振変	周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	658		○
				同期	-	電制	-	-	-	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	
				電圧	-	-	-	-	-	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	
			脊振変→西九州変	周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	658		○
				同期	-	-	-	-	-	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	
8	500	熊本幹線	熊本変→中央変	電圧	-	-	-	-	-	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			中央変→熊本変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	329		○
				同期	-	電制	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	

## 地内制約要因一覧（送電線）

九州電力送配電											
No.	電圧[kV]	送電線名	方向	制約要因	算定方法	系統制御	ワラン拘無 [万kW]	想定故障	想停容 [GW]	備考	決定 要因
9	500	中九州幹線	中九州変⇒熊本変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	493.6		○
				同期	—	電制	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			熊本変⇒中九州変	周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	493.6		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
10	500	南九州幹線	南九州変⇒中九州変	周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			中九州変⇒南九州変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	493.6		○
				同期	—	—	—	—	—	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	
				電圧	—	—	—	—	—	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
11	500	宮崎幹線	宮崎変⇒南九州変	周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	493.6		○
				同期	—	電制	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
			南九州変⇒宮崎変	周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	493.6		○
				同期	—	電制	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
12	500	小丸川幹線	宮崎変⇒ひむか変	電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			ひむか変⇒宮崎変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	164.5		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
13	500	日向幹線	東九州変⇒ひむか変	周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	329		○
				同期	—	—	—	—	—	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	
				電圧	—	—	—	—	—	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	
			ひむか変⇒東九州変	周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	329		○
				同期	—	—	—	—	—	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	
14	220	樋田線	樋田 s w s ⇒北九州変	電圧	—	—	—	—	—	フェンス管理により送電線単体の運用容量を設定していない	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			北九州変⇒樋田 s w s	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	144.7		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
15	220	西谷線	北九州変⇒西谷変	周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
			西谷変⇒北九州変	周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
16	220	北九州豊前線	豊前変⇒北九州変	電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			北九州変⇒豊前変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	35.1		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	

## 地内制約要因一覧（送電線）

九州電力送配電											
No.	電圧[kV]	送電線名	方向	制約要因	算定方法	系統制御	リンク制限 [万kW]	想定故障	想定停 止時間 [THREE]	備考	決定 要因
17	220	上津役線	北九州変⇒上津役変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できなくなっため省略	
			上津役変⇒北九州変	周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できなくなっため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
18	220	西谷門司線	西谷変⇒門司変	周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	35.1		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
			門司変⇒西谷変	電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
19	220	苅田分岐線	苅田変⇒西谷変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	35.1		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			西谷変⇒苅田変	周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	35.1		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
20	220	到津線	到津変⇒桜田s w s	周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できなくなっため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できなくなっため省略	
			桜田s w s⇒到津変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	45.8		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
21	220	大分北線	西大分変⇒豊前変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	35.1		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			豊前変⇒西大分変	周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	35.1		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
22	220	大分南線	大分変⇒西大分変	周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			西大分変⇒大分変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			東大分変⇒大分変	周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
23	220	東大分線	東大分変⇒大分変	周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			大分変⇒東大分変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	72.3		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			山家変⇒中央変	周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	72.3		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
24	220	山家線	中央変⇒山家変	周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			山家変⇒中央変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	140.7		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	140.7		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	

## 地内制約要因一覧（送電線）

九州電力送配電											
No.	電圧[kV]	送電線名	方向	制約要因	算定方法	系統制御	ワラン拘無 [万kW]	想定故障	想停電 [万kW]	備考	決定 要因
25	220	筑豊線	中央変⇒筑豊変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	102.4		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			筑豊変⇒中央変	周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	102.4		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
26	220	山家東福岡線	山家変⇒東福岡変	周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			東福岡変⇒山家変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	129.6		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
27	220	東福岡住吉線	東福岡変⇒住吉変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	65.7		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			住吉変⇒東福岡変	周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	65.7		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
28	220	唐津西九州線	西九州変⇒唐津変	周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			唐津変⇒西九州変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	51.2		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
29	220	武雄線	西九州変⇒武雄変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			武雄変⇒西九州変	周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
30	220	松島火力線北線	東佐世保変⇒西九州変	周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			西九州変⇒東佐世保変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	129.7		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
31	220	長崎幹線	武雄変⇒長崎変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	35.1		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			長崎変⇒武雄変	周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	35.1		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
32	220	諫早分岐線	武雄変⇒諫早変	周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			諫早変⇒武雄変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	

## 地内制約要因一覧（送電線）

九州電力送配電											
No.	電圧[kV]	送電線名	方向	制約要因	算定方法	系統制御	ワラン拘無 [万kW]	想定故障	想停電 [MW/kV]	備考	決定 要因
33	220	鳥栖木佐木線	木佐木変⇒鳥栖変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			鳥栖変⇒木佐木変	周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
34	220	脊振鳥栖線	脊振変⇒鳥栖変	周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			鳥栖変⇒脊振変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
35	220	木佐木三池線	三池変⇒木佐木変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			木佐木変⇒三池変	周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
36	220	熊本南熊本線	南熊本変⇒熊本変	周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			熊本変⇒南熊本変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
37	220	熊本日田線	熊本変⇒日田変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	38.3		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			日田変⇒熊本変	周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	38.3		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
38	220	中九州南熊本線	中九州変⇒南熊本変	周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			南熊本変⇒中九州変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
39	220	八代分岐線	中九州変⇒八代変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	70.3		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できなため省略	
			八代変⇒中九州変	周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できなため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	34.9		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
40	220	鹿児島南線	南九州変⇒鹿児島変	周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できなため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できなため省略	
			鹿児島変⇒南九州変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	61.2		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できなため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できなため省略	

## 地内制約要因一覧（送電線）

九州電力送配電											
No.	電圧[kV]	送電線名	方向	制約要因	算定方法	系統制御	ワラン拘無 [万kW]	想定故障	想停電 [万kW]	備考	決定 要因
41	220	高野線	南九州変→高野 s w s	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	129.7		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			高野 s w s ⇒ 南九州変	周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	129.7		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
42	220	霧島分岐線	南九州変⇒霧島変	周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			霧島変⇒南九州変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	129.7		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
43	220	都城線	高野 s w s ⇒ 都城変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	102.4		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			都城変⇒高野 s w s	周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	102.4		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
44	220	大隅線	高野 s w s ⇒ 大隅変	周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			大隅変⇒高野 s w s	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	108.5		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
45	220	南宮崎線	南宮崎変⇒高野 s w s	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	102.4		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			高野 s w s ⇒ 南宮崎変	周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	102.4		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
46	220	海崎線	東九州変⇒海崎変	周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			海崎変⇒東九州変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	64.8		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
47	220	脊振西福岡線	脊振変⇒西福岡変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	217.1		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			西福岡変⇒脊振変	周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	217.1		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
48	220	宮崎分岐線	南宮崎変⇒宮崎変	周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			宮崎変⇒南宮崎変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	144.7		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	

## 地内制約要因一覧（送電線）

会社名：

九州電力送配電											
No.	電圧[kV]	送電線名	方向	制約要因	算定方法	系統制御	ワラン拘無 [万kW]	想定故障	想停値 [MW]	備考	決定 用意
49	220	久留米分岐線	鳥栖変→久留米変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	54.4		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			久留米変→鳥栖変	周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	54.4		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
50	220	中央南福岡線	中央変→南福岡変	周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	52.3		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
			南福岡変→中央変	電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	144.7		○
51	220	北佐賀木佐木線	北佐賀変⇒木佐木変	同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			木佐木変⇒北佐賀変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	144.7		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
52	220	速見分岐線	西大分変⇒速見変	周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	64.8		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
			速見変⇒西大分変	周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	64.8		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
53	220	脊振伊都線	脊振変⇒伊都変	電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
			伊都変⇒脊振変	熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	36.8		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
54	220	弓削分岐線	南熊本変⇒弓削変	周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	36.8		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
			弓削変⇒南熊本変	周波数上昇	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				周波数低下	—	—	—	—	—	ルート断時に分離系統が維持できないため省略	
				熱	DC法	無	無	1回線停止に至る故障	77.1		○
				同期	—	—	—	—	—	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	

## 地内制約要因一覧（フェンス）

九州電力送配電											
No.	電圧[kV]	フェンス名	方向	制約要因	算定方法	系統制御	ノンジン有無 〔△△△△△〕	想定故障	概算額 〔万円〕	備考	決定 期間
101	500	大分フェンス (No4+No13)	西向	熱	-	-	-	-	-	フェンスは同期安定度の適用指標であるため対象外	
				同期	Y法	電制	無	2ctt3q6LGO	300		○
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			東向	熱	-	-	-	-	-	フェンスは同期安定度の適用指標であるため対象外	
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	運用上、蓋然性の高い方向で算出し、逆方向については算出省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
102	500	西部フェンス (No6+No7)	東向	熱	-	-	-	-	-	フェンスは同期安定度の適用指標であるため対象外	
				同期	Y法	電制	無	2ctt3q6LGO	760		○
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			西向	熱	-	-	-	-	-	フェンスは同期安定度の適用指標であるため対象外	
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	運用上、蓋然性の高い方向で算出し、逆方向については算出省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
103	500	南部フェンス (No10-No13)	北向	熱	-	-	-	-	-	フェンスは同期安定度の適用指標であるため対象外	
				同期	Y法	電制	無	2ctt3q6LGO	300		○
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
			南向	熱	-	-	-	-	-	フェンスは同期安定度の適用指標であるため対象外	
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	運用上、蓋然性の高い方向で算出し、逆方向については算出省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	ルート断時に分離系統が生じないため省略	

## 地内制約要因一覧 (変電所)

九州電力送配電											
No.	電圧[kV]	変電所名	方向	制約要因	算定方法	系統制御	ノンリモート無	想定故障	概算額 [万kVA]	備考	決定 期間
A	500/220	北九州変電所 2B	順	熱	DC法	無	無	-	95		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
			逆	周波数低下	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				熱	DC法	無	無	-	95		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
B	500/220	中央変電所 2・3・4B	順	周波数上昇	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
			逆	熱	DC法	無	無	変圧器1台停止に至る故障	237.5		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
C	500/220	脊振変電所 2・3・4B	順	熱	DC法	無	無	変圧器1台停止に至る故障	237.5		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
			逆	周波数上昇	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
			逆	熱	DC法	無	無	変圧器1台停止に至る故障	237.5		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
D	500/220	西九州変電所 2・4B	順	周波数低下	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				熱	DC法	無	無	変圧器1台停止に至る故障	118.7		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
			逆	周波数上昇	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				熱	DC法	無	無	変圧器1台停止に至る故障	118.7		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
E	500/220	豊前変電所 3・4B	順	電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
			逆	熱	DC法	無	無	変圧器1台停止に至る故障	118.7		○
				同期	-	電制	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
F	500/220	東九州変電所 2・3・4B	順	周波数低下	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				熱	DC法	無	無	変圧器1台停止に至る故障	356.3		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
			逆	周波数上昇	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				熱	DC法	無	無	変圧器1台停止に至る故障	356.3		○
				同期	-	電制	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
G	500/220	熊本変電所 3・4B	順	電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
			逆	熱	DC法	無	無	変圧器1台停止に至る故障	95 118.7	2030年：主要増強!100万kVA×1台⇒100万kVA×2台】	○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
H	500/220	中九州変電所 1B	順	周波数低下	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				熱	DC法	無	無	-	95		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
			逆	周波数上昇	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				熱	DC法	無	無	-	95		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	

## 地内制約要因一覧（変電所）

会社名：

九州電力送配電

No.	電圧[kV]	変電所名	方向	制約要因	算定方法	系統制御	ノンリモート無	想定故障	概算額 [万kW]	備考	決定 期間
I	500/220	ひむか変電所 4B	順	熱	DC法	無	無	-	95		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
			逆	熱	DC法	無	無	-	95		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
J	500/220	宮崎変電所 3B	順	熱	DC法	無	無	-	95		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
			逆	熱	DC法	無	無	-	95		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
K	500/220	南九州変電所 3・4B	順	熱	DC法	無	無	変圧器1台停止に至る故障	118.7		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
			逆	熱	DC法	無	無	変圧器1台停止に至る故障	118.7		○
				同期	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				電圧	-	-	-	-	-	制約となり得る規模の潮流が流れる蓋然性が低い等から省略	
				周波数上昇	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	
				周波数低下	-	-	-	-	-	変圧器停止時に分離系統が生じないため省略	